ハラスメントと教会の人間関係

窪寺俊之 著

教会の中でも、だれもがハラスメントの加害者・被害者になり得る。ハラスメントの多様性と理解の難しさ、要因としての人間の性質と日本の教会の風土をたどり、これをどう防止したらよいかを語る。福音理解と信仰のありようも考える一冊。

A5判 60頁 定価660円（本体600円＋税）
ISBN978-4-264-04399-7 C0016
いのちのことば社　卸コード 29285

著者プロフィール
窪寺俊之（くぼでら・としゆき）
1939年生まれ。埼玉大学（教育学），東京都立大学大学院（臨床心理学）に学び，エモリー大学神学研究科（キリスト教神学）（M.Div.），コロンビア神学校神学研究科（牧会学，牧会カウンセリング）（M.Th.）を修了。博士（人間科学，大阪大学）。リッチモンド記念病院チャプレン，淀川キリスト教病院チャプレン，イーストベイ・フリーメソジスト教会牧師，関西学院大学教授，聖学院大学院教授を経て，現在，兵庫大学大学院特任教授。臨床死生学，臨床倫理学などを担当。日本臨床死生学会常任理事，日本臨床宗教師会副会長，日本ホスピス財団評議員。